



# 社会科学研究部報

令和6年10月10日  
浜松市教育研究会 社会科学研究部

## 令和6年度 社会科自由研究審査会

9月18日（水）に、浜松市教育会館にて令和6年度社会科自由研究審査会を行いました。審査に御協力いただいた各校の先生方、ありがとうございました。

今年度も「自由研究を通して、社会科好きの児童を増やす」という研究部の目的のもと、より使いやすく、分かりやすい資料づくりを目指して、自由研究テンプレートの改訂や児童用資料の作成を行いました。

結果として、今年度も2000点を超える多くの応募がありました。これも、先生方の御指導のおかげです。重ねて感謝申し上げます。今後、さらに社会科好きの児童を増やしていくことができたと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（文責：瑞穂小 本樫 亮介）

### 1 顧問校長あいさつ（芳川小 澤田正樹校長）

45年前の恩師とのつながりがあり、今でも恩師から多くのことを学ばせていただいている。子供たちの自由研究についても、これからの一生の学びにつながる重要なものであると感じている。

自由研究審査会は、審査会であり研修会である。他校の社会科教員と共に作品について協議することを通して、社会科教員としての知見を深めることができる研修会にしてほしい。



### 2 自由研究審査

各校の校内審査を通過した267点の作品の中から、審査の観点をもとに審議を重ね、36点の金賞作品を選出した。

各校の児童の優れた作品を審査することを通して、社会科教員としての視野を広げるとともに他校の教員と議論を重ね、社会科の見方・考え方を養う貴重な機会となった。



### 3 指導講評（可美小 鈴木右二校長）

自由研究に取り組む児童は、研究テーマについてじっくりと調べ、まとめることが好きな子であると考えます。今年は一人で2点提出した児童がいた。その児童に自由研究について尋ねると「とても楽しかった」「全然大変ではなかった」と語ってくれた。研究の時間を十分に確保することができる夏休みは、児童の学びにとって重要であると改めて感じた。

本研修会は、教師の社会科の見方・考え方を養うよい時間になったと感じている。今後の学校での授業に生かしてほしい。



（文責：尾奈小 上島 亮介）

金賞作品については、浜松市博物館での審査を経て、博物館賞、奨励賞が選ばれ、博物館にて表彰式を行う予定です。また金賞作品は 10月8日（火）から10月27日（日）まで、博物館に展示されます。

先生方もぜひご来館いただき、各校の優れた作品をご覧いただくとともに、社会科の見識を深める機会としていただけたらと思います。

（文責：瑞穂小 本樫 亮介）